

工業英語(Engineering English)

担当教員名	稻積 真哉、神田 佳一、内田 省司	
学科・専攻、科目詳細	都市システム工学科 5年 通年 2単位 講義	
学科のカリキュラム表	専門科目 必修科目	
共生システム工学の科目構成表	専門工学科目 実務系	
学習・教育目標	共生システム工学	A-2(5%) B-1(25%) E-2(70%)
	JABEE基準1(1)	(d)(f)
科目的概要	<p>科学・工業技術および建設技術に関する英語の語彙を増やし、技術論文の精読や英語での発表ができる能力の向上を目指す。前期（内田）は、自己表現できる英語の書き方を学ぶ。工学系においても必須であるTOEIC試験で高得点が取れるよう、出題の形式、勉強の仕方を説明し模擬練習を通して得点力アップを目指す。後期（稻積・神田）は、土木学会論文集等の技術論文のAbstractを多読することにより、Abstractの作成手法を学ぶとともに、各自の卒業論文のabstractを作成する。</p>	
テキスト(参考文献)	適宜、プリントを配布する。	
履修上の注意	<p>遅刻、授業中の私語、居眠り、予習の不徹底、携帯電話メールの使用は厳に慎むこと。 欠席過多や学習態度の悪い学生が成績不振に陥った場合、再試験は行わない。また、授業時には辞書(電子辞書も可)を持参すること。</p>	
科目的達成目標	<p>(1)基礎的な科学・工業技術および建設技術に関する知識や技術英語を理解できる(B-1)(E-2)。 (2)科学・工業技術および建設技術に関する語彙を蓄積し、英文読解や基礎的なコミュニケーション能力が養成できる(A-2)(E-2)。 (3)200～400ワード程度の技術論文のabstractが作成できる。 (4)TOEICスコア650点を目標とする（内田）。</p>	
自己学習	語彙テストの準備、授業の予習、復習を欠かさないこと。	
目標達成度(成績) の評価方法と基準	合格の対象としない欠席条件(割合)	1/4以上の欠課
	<p>(1)前期（内田担当）は、定期試験(70%)および平常点(30%)を総合して評価する。定期試験ではTOEIC模擬問題を実施する。平常点は毎回行う小テストおよび自己表現レポートで評価する。 (2)後期前半(稻積担当)は、定期試験(70%)および語彙テスト(30%)を総合して評価する。定期試験は各分野の技術的な内容について出題し、理解度を確認する。語彙テストも各分野の工事や技術についての英語を出題する。 (3)後期後半(神田担当)は、毎授業時間ごとに多読したabstractの語数、キーワードの抽出および訳文をレポートとして提出させる。また、卒業論文のabstractを作成する。評価はレポートの内容(80%)およびabstract(20%)を総合して評価する。</p> <p>各担当による評価を総合し、60%以上達成したものを合格とする。</p>	
連絡先	inazumi@akashi.ac.jp, kanda@akashi.ac.jp	

授業の計画・内容	
第1週 オリエンテーション・TOEIC ガイダンス	授業の進め方、評価方法、TOEICの試験について説明を行う。
第2週 リスニング・セクション練習	Part(1)写真描写問題、およびPart(2)応答問題を行う。
第3週 リーディング・セクション練習	Part(5)短文穴埋め問題、およびPart(6)長文穴埋め問題を行う。
第4週 リスニング・セクション練習	Part (3)会話問題、およびPart(4)説明文問題を行う。
第5週 リーディング・セクション練習	Part(7)読解問題を行う。
第6週 TOEIC(文法・語彙)	文法と語彙に絞って練習を行う。
第7週 英語自己表現(1)	自分の考えを効率よく英語で表現するための練習を行う。
第8週 中間考查	TOEIC模擬問題、および各パートを総合した練習問題を中間考查とする。
第9週 リスニング・セクション練習	Part(1)写真描写問題、およびPart(2)応答問題を行う。
第10週 リーディング・セクション練習	Part(5)短文穴埋め問題、およびPart(6)長文穴埋め問題を行う。
第11週 リスニング・セクション練習	Part(3)会話問題、およびPart(4)説明文問題を行う。
第12週 リーディング・セクション練習	Part(7)読解問題を行う。
第13週 TOEIC(文法・語彙)	文法と語彙に絞って練習を行う。
第14週 英語自己表現(2)	自分の考えを効率よく英語で表現するための練習を行う。
第15週 総復習	第1週～14週のまとめを行う。
期末試験	

授業の計画・内容
第16週 「頭からすらすらと」「始めが肝心」「英語でしゃべる」 国際人英語として「頭からすらすらと」，「始めが肝心」，「英語でしゃべる」を解説し，受講生全員で実践する。
第17週 「英語の遊び心」「英語の周辺」「文章の流れ」 国際人英語として「英語の遊び心」，「英語の周辺」，「文章の流れ」を解説し，受講生全員で実践する。
第18週 「英語ならではの表現」「英語で書く」「言葉の先にあるもの」 国際人英語として「英語ならではの表現」，「英語で書く」，「言葉の先にあるもの」を解説し，受講生全員で実践する。
第19週 「理論・数値解析での表現例」「構造系での表現例」 国際人英語として「理論・数値解析での表現例」，「構造系での表現例」を解説し，受講生全員で実践する。
第20週 「地盤系での表現例」「水理系での表現例」 国際人英語として「地盤系での表現例」，「水理系での表現例」を解説し，受講生全員で実践する。
第21週 「計画系での表現例」「環境系での表現例」 国際人英語として「計画系での表現例」，「環境系での表現例」を解説し，受講生全員で実践する。
第22週 第16～22週のまとめ 第16～22週をまとめます。
第23週 中間試験
第24週 英文多読概説 技術論文の多読を行うための手法、多読手法について説明する。
第25週 技術論文(Abstract)の多読(1) 土木学会論文集のabstractの読み方
第26週 技術論文(Abstract)の多読(2) 土木学会論文集のabstractの読み方
第27週 技術論文(Abstract)の多読(3) 土木学会論文集のabstractの読み方
第28週 技術論文(Abstract)の多読(4) 土木学会論文集のabstractの読み方
第29週 技術論文(Abstract)の多読(5) 土木学会論文集のabstractの読み方
第30週 Abstractの作成 卒業研究のabstract作成
期末試験